

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEGONKidsのあ			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 3月 4日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来の自立に向けたマナーやルールの習得、生活の自立を目指している	・おやつ後の食器洗い ・言葉遣いや身だしなみ ・公共の場でのふるまい方	・外出レクの際に公共交通機関を使用すること ・外食レクやお買い物などで、意思決定を行うことやお金を使用する練習を行なうこと
2	ご家族様に寄り添った支援の立案	・子どもの成長の共有など一緒に感じることができている ・モニタリング時に困りごとの解決方法などを考え、支援に反映させるために職員間での会話が多い事	・保護者交流会の充実 ・ペアレントトレーニングなどを行ない、保護者同士のつながりもつくる
3	イベントや活動など偏りがないように日々の支援の立案	1週目は運動、2週目はSST、3週目は制作というように週に分けて目的を決め、支援内容を考えている	・活動後の振り返りを職員と児童から意見を吸い上げ、子どもたちが取り組みたい内容も交えながら、今日の活動を立案する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の訓練が全員ができていないこと	週末など偏った日程での実施となっていること	長期休暇中に避難訓練習慣をつくり、毎日避難訓練を行うことで、全員が避難訓練を体験することができると考える。早速春休みに実施しようと企画中である。
2	言葉遣いの注意、不適切な言葉の習得	言葉遣いが悪いときの対応がまだまだ不十分である。全部の会話を聞くことができないため、日ごろからの意識付けが大切である。	現状、ふわふわポイントのようなものを実施し、いい言葉がけやいい行いをしたら職員がポイントをつけていく。そうすることで、子どもたちも適切な表現を心がけ、職員もより、子どもたちの会話に耳を傾けるようになっていく。いいところ探しをすることで良好なコミュニケーション作りに繋がる。
3	個別支援計画の内容が日々の活動に十分反映しきれていない	就学すると、保護者様のニーズも宿題や知識の補填などがメインとなってくるため、平日の取り組むの時間が不十分と感じることもある	活動の取り組む時間を決め、その時間までに終わらなかったものは自宅で取り組むなど、線引きが必要と感じる